



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 インテア・ホールディングス
コード番号 3734 URL <http://www.inteahd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理本部長

(氏名) 大川 昭徳

(氏名) 鈴木 良助

TEL 03-5227-8380

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,745	19.9	33	45.7	32	17.3	71	605.6
26年3月期第1四半期	1,456	27.5	22	—	27	—	10	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 8百万円 (△32.0%) 26年3月期第1四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	6.69	—
26年3月期第1四半期	0.94	—

(注1) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,340	3,190	72.8	296.95
26年3月期	4,338	3,181	72.7	296.42

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,158百万円 26年3月期 3,152百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	4.9	0	△100.0	0	△100.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	10,637,200 株	26年3月期	10,637,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	400 株	26年3月期	400 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	10,636,800 株	26年3月期1Q	10,636,800 株

（注）当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります[※]、この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績の見通し等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、基調的には緩やかな回復傾向にあり、家計・企業を取り巻く景況感は、引き続き良好な状況で推移しました。

このような経済環境の中、情報通信分野においては、携帯電話販売に関して前年度末の駆け込み需要の反動等の影響等が見られましたが、新料金プランなど多様なサービスの広がり等により、携帯電話契約数の約半分を占めるスマートフォン向けのユーザーへの幅広いサービス展開がますます期待されております。

当社グループでは、スマートフォンユーザー向けの新規サービスの投入や既存サービスの充実および販売網の開拓等により収益を確保する一方で、安定的な将来の収益源を確保するために、法人向けにはユーザーの会員化等による新サービスの準備を行って参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,745,973千円（前年同期比19.9%増）、営業利益33,279千円（前年同期比45.7%増）、経常利益32,644千円（前年同比17.3%増）、四半期純利益71,232千円（前年同比約7.1倍）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(B2B事業)

B2B事業につきましては、継続収益の拡大に向けて、法人向けのユーザー会員化等による新サービスの準備を行って参りました。

また、主にホテルや集合住宅向けに映像をはじめとしたコンテンツの配信サービス及びクライアントからサーバまで映像配信に関わるソリューションの開発及び保守・運用を展開して参りました。

これらの結果、B2B事業の売上高は701,499千円（前年同期比1.5%減）、営業利益15,382千円（前年同期は営業損失1,790千円）となりました。

(B2C事業)

B2C事業につきましては、スマートフォンユーザー向けの新規サービスの投入や既存サービスの充実および販売網の開拓等を行って参りました。

これらの結果、B2C事業の売上高は1,177,378千円（前年同期比53.8%増）、営業利益83,130千円（前年同期比28.8%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(単位：千円)

	前連結会計年度末	当第1四半期連結会計期間末	増減
総資産	4,338,722	4,340,111	1,388
負債	1,157,162	1,149,790	△7,372
純資産	3,181,559	3,190,320	8,760

総資産は、売掛金が64,169千円増加したこと等により、前連結会計年度と比較して1,388千円増加の4,340,111千円となりました。

負債は、未払金が14,875千円減少したこと等により、前連結会計年度と比較して7,372千円減少の1,149,790千円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度と比較して8,760千円増加の3,190,320千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の72.7%から72.8%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月15日の平成26年3月期決算短信で公表いたしました通期の業績予想変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

当社連結子会社である株式会社ベストクリエイトは、平成26年4月1日付で、電子書籍事業を新設分割により設立したいつでも書店株式会社に継承させる会社分割を実施いたしました。これに伴い、いつでも書店株式会社を当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,953	1,481,151
売掛金	976,272	1,040,441
商品及び製品	13,784	9,835
その他	99,862	109,093
貸倒引当金	△56,193	△57,852
流動資産合計	2,516,678	2,582,668
固定資産		
有形固定資産	25,746	27,691
無形固定資産		
のれん	1,166,687	1,074,826
その他	97,320	108,324
無形固定資産合計	1,264,008	1,183,150
投資その他の資産		
投資有価証券	442,817	450,188
その他	96,470	103,410
貸倒引当金	△6,998	△6,998
投資その他の資産合計	532,288	546,600
固定資産合計	1,822,043	1,757,442
資産合計	4,338,722	4,340,111
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,121	92,597
未払金	921,761	906,886
未払法人税等	15,851	9,863
賞与引当金	32,852	24,924
役員賞与引当金	16,999	7,499
ポイント引当金	769	751
その他	63,527	89,242
流動負債合計	1,136,884	1,131,765
固定負債		
その他	20,278	18,025
固定負債合計	20,278	18,025
負債合計	1,157,162	1,149,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	1,962,651	1,962,651
利益剰余金	190,443	261,675
自己株式	△125	△125
株主資本合計	3,152,969	3,224,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△65,533
その他の包括利益累計額合計	—	△65,533
少数株主持分	28,590	31,651
純資産合計	3,181,559	3,190,320
負債純資産合計	4,338,722	4,340,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,456,341	1,745,973
売上原価	1,114,571	1,247,657
売上総利益	341,770	498,315
販売費及び一般管理費	318,934	465,035
営業利益	22,835	33,279
営業外収益		
持分法による投資利益	5,447	—
その他	401	—
営業外収益合計	5,849	—
営業外費用		
その他	843	635
営業外費用合計	843	635
経常利益	27,841	32,644
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,773
投資有価証券交換益	—	75,956
特別利益合計	—	77,729
特別損失		
固定資産除却損	1,839	—
減損損失	—	26,774
事務所移転費用	4,806	—
特別損失合計	6,645	26,774
税金等調整前四半期純利益	21,196	83,598
法人税、住民税及び事業税	8,312	9,304
法人税等合計	8,312	9,304
少数株主損益調整前四半期純利益	12,884	74,294
少数株主利益	2,789	3,061
四半期純利益	10,095	71,232

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,884	74,294
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△65,533
その他の包括利益合計	—	△65,533
四半期包括利益	12,884	8,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,095	5,699
少数株主に係る四半期包括利益	2,789	3,061

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	B 2 B事業	B 2 C事業			
売上高					
外部顧客への売上高	570,106	1,175,866	1,745,973	-	1,745,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131,392	1,511	132,904	△132,904	-
計	701,499	1,177,378	1,878,877	△132,904	1,745,973
セグメント利益	15,382	83,130	98,513	△65,233	33,279

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,233千円は、セグメント間取引消去△2,268千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△62,965千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、報告セグメントを「ブロードバンド事業」、「スマートインフラ事業」としておりましたが、事業領域を法人向けサービスと一般消費者向けサービスとに区分することで、より適切な業績管理及び経営情報の開示を行うことが可能になるため、当第1四半期連結会計期間より、「B 2 B事業」、「B 2 C事業」に変更しております。

事業区分	主要な事業内容
B 2 B事業	・フィーチャーフォン、スマートフォンなどへのコンテンツ・アプリ導入を促進するリアルアフィリエイトサービス ・映像コンテンツの配信サービス及びクライアントからサーバまで映像配信に必要なソリューションの開発とサービスの提供及び保守 ・法人向け電子会員証サービスの提供及び開発
B 2 C事業	・スマートフォン向けコンテンツの運営及び、インターネット広告販売、コンテンツやアプリケーション企画・制作・販売 ・電子出版物の企画、製作及び配信・頒布・提供・販売並びにそれらの代行

なお、当該セグメント変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は以下の通りであります。

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	B 2 B 事業	B 2 C 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	691,628	764,712	1,456,341	—	1,456,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,870	840	21,711	△21,711	—
計	712,499	765,552	1,478,052	△21,711	1,456,341
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,790	64,533	62,743	△39,907	22,835

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△39,907千円は、セグメント間取引消去△395千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△39,511千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

B 2 B 事業において、のれんの減損損失451千円を計上しております。

また、B 2 C 事業におきましてものれんの減損損失26,323千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

上記のとおり、のれんの減損損失を、B 2 B 事業において451千円、B 2 C 事業において26,323千円を計上しております。